

要 旨

中国南京市における古紙リサイクルに関する研究

林

雅

古紙パルプの重要性が高まるとともに、国際的な古紙価格も上昇し続け、古紙パルプ事業に対する投資も注目されるようになった。中国の古紙用量は大きく輸入に依存している。その結果、国内の古紙価格は完全に国際的な古紙価格に左右されている。古紙の平均価格の変動をみると、2006年における輸入古紙の価格は、2001年に比べて二倍ほど上昇した。2007年における輸入古紙の平均価格は179.2ドル/tであり、2006年に比べて28%上昇した。2008年03月24日の『東方今報』によれば、2007年年初から、古紙の回収価格は上下変動した後、0.8元/kgから1.0元/kgまでに上昇に転じた。2006年においても、国内の各都市の古紙回収価格はすべて急騰している。造紙業界の発展のためにも古紙回収率を高める必要があるといえる。

他方、日本においては1990年4月に、紙類を一般ゴミから分別収集することをはじめてから、古紙回収率は全体的に増加傾向にある。2012年には古紙年回収率も80%以上に達している。日本を成功事例とすることによって、中国におけるゴミ分別収集体制を整備し、古紙回収率を高めることが可能になると考える。

古紙を分別して回収するメリットは、経済にも環境にも利益をもたらすことにある。経済面から考えると、古紙がリサイクルされ、再生資源として利用されることで安価な紙として流通するなどの経済効果が期待できる。古紙回収によって回収された古紙をもとにして作られる再生紙は、パルプを使用した紙に比べてはるかに安価である。

環境面から考えると、廃棄物を減少させ、汚染を減らすという二つのメリットがある。ゴミは人間の日常生活と生産活動の過程で発生する廃棄物である。ゴミの種類は多様であるため、不適切な処理をすると、汚染物を排出することになり、環境を破壊してしまう。経済発展とともに、ゴミの排出量も年々増加している。ゴミ処分場も増加している。人口密度が増す都市において、市民の周りに廃棄物が増大し、市民の生活空間が狭くなりつつある。ゴミの分別収集により、再生資源の利用を増やして、廃棄物を減少することが期待されるようになった。

古紙の回収にあたっては、新聞、雑誌、段ボールなどの種類別に分別し、異物を取り除き、ばらばらにならないように紐（紙紐が最適）でしっかりしばって、古紙リサイクルに出すことが望ましい。このような分別廃棄の作業をすることで、古紙の原料としての品質を高め、再生される紙の品質を高めることができるのである。

分別が徹底されていればいるほど、製紙工場は古紙を利用しやすくなる。家庭や企業で排出する段階で、決められた分類方法で処理することが、古紙を「原料」に変えられるのである。

実際に、南京市では2000年において、北京、上海など九つ地区とともに、ゴミ分別収集試行モデル地区に指定され、一回だけ、ゴミ分別収集が実行されたが、中断されてしまった。2006年に南京市は杭州市など計6市とともに再生資源回収モデル地区として中国政府商務部によって指定された。

南京市には古紙リサイクルを含めて、再生資源回収事業は始まったばかりである。中国政府商務部が

南京市を「再生資源回収システムを建築先行都市」に指定した、2007年7月から全市の再生資源回収市場において大きな変化が生じた。その年の間に、市内の327ヶ所のごみ回収場に対してアップグレードの修繕が実施された。

2008年に南京市の商務局は『南京市の再生資源回収システム構築を促進するための意見』と『南京市の再生資源回収システムの構築管理規格』を発表した。さらに『南京市の再生資源回収システムを構築する特定項目資金の使用管理方法』を制定した。南京市は中国の他の地域に比べて再生資源回収政策が優先的に実施されてきたが、なぜ、ごみ分別収集事業が成功しなかったのか。その理由を、市民に対するアンケート調査を通して、〈ごみ分類について〉、〈古紙回収〉、〈再生紙使用〉の現状を把握し、調査データに基づいて分析したい。

調査によって、市民がごみと古紙の分別が持つ重要性に対する認識度が低く、過度装飾と違法回収者などの問題が存在していることが分かった。本研究が、南京市の市民がごみと古紙の分別の重要性に対する認識度が高くなることに少しでも貢献できれば幸いである。また包装紙等による過度装飾が古紙価格を引き上げる一因になっている。消費者は不要な廃棄物のために古紙価格の上昇という代償を支払っているといえる。欧州の「拡大生産者責任」原則を踏まえて古紙処理費用を再生紙価格に含めれば、古紙回収率を高め、古紙処理費用問題や過度装飾問題を解決できる可能性を本調査によって実証した。違法回収者問題を解決するためには、南京市商務省が示した90%以上の回収人員がごみ回収規範化習得という目標を達成する必要がある。

南京市が示した目標を実現し、古紙回収システムが軌道に乗るかどうかの研究は、今後の課題とした。